

不二健育会 特別養護老人ホーム ケアポート板橋

荒川 理紗(職種／社会福祉士 所属部署 / 包括)

功 績 通所介護・居宅の事務職として現場を支えてきた荒川は、急な欠員が発生した地域包括支援センターへ社会福祉士の資格を活用し、令和4年4月より異動。

相談援助職としての業務は初めてであったが、要支援1・2の利用者さんのケアマネジメント業務を問題なく実践。子育てをしながら仕事と家庭を両立し、念願であった令和6年度介護支援専門員試験に見事合格することができた功績。

推 薦 者 鈴木 穰

推 薦 理 由 急な地域包括支援センターへの異動を、自身のステップアップと前向きに捉え、多種多様な業務を覚えなければならない時期であったが、子育てと業務を両立しながら、健康にも留意し、諦めることなく介護支援専門員資格取得にも取り組まれ、努力の結果、無事合格された。

何より、「誰かの役に立つことが、自分のやりがい」と話す職員の手本となるその姿勢とマインドは理事長賞に相応しい功績であると評価し、推薦させていただきます。

内 容

学生時代より自ら積極的にボランティア活動を行い、高齢者支援に興味を持ち社会福祉士を取得して入職した荒川は、通所介護及び居宅介護にて、高い事務処理能力にて、現場を支えてくれました。

令和4年4月に、地域包括支援センターにおいて急な欠員が出た際、社会福祉士の資格を活用し、初めての相談援助職としての業務を心よく受け入れてくれました。

要支援1・2の利用者さんのケアマネジメント業務や日々、途切れることのない利用者さんからの電話に積極的に対応し、周りの職員に対応を相談しながら、相談スキルはみるみる向上していきました。

担当ケースを徐々に増やし、R6年12月時点で38件を担当。給付に繋がらない相談業務も多く、優に50件以上の相談を毎月笑顔で熟しています。11月の「仕事のやりがい」においても、「クライアントと関わること、コミュニケーションをとること自体が楽しく、また部署の仲間もいつでも相談に乗ってくれるため、環境にも非常に恵まれています。」と笑顔で語ってくれました。その他、小中学校への出前講座をスタッフとともに、企画・運営に取り組んでくれています。

また、子育てをしながら仕事と家庭を両立する中で学びを続け、念願であった介護支援専門員の国家資格を今年、無事取得することができました。

今後、介護支援専門員実務者研修（講義・演習：約87時間/実習3日間）を経て登録支援専門員証交付となります。十分に研修に取り組めるよう、当センター職員全員でサポートしていきます。